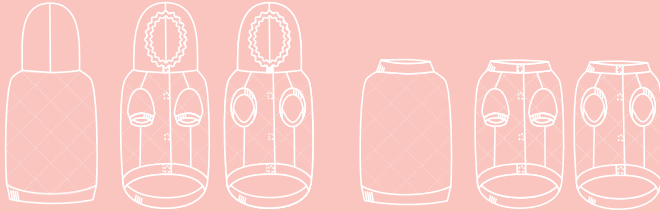




PT
006

Quilting Jacket

ドッグウェアパターンレシピ：キルティングジャケット（フード付き／なし・袖付き／なし）



冬に活躍！

4パターンのキルティングジャケットが作れる型紙

「フード付き／フードなし」「袖付き／袖なし」を組み合わせ、4パターンの本格的なアウターが作れます。ワンちゃんの毛が付きにくいように裏地を取り付ける仕様にしました。毛が付きにくい生地を裏地に使用してお作りください。

キルティング生地の作り方やフードにファーをつける手順も学べます。



1		はじめに
3	01	材料
7	02	下準備
11	参考	キルティング生地 の 作り方
12	03	裾リブを作る
13	04	袖付き 袖を作る 袖なし 腕リブを作る
15	05	フード付き フードを作る フードなし 首リブを作る
16	06	肩と脇を縫い合わせる
17	07	身頃の表地と裏地を縫い合わせる
17	08	裾リブを縫い付ける
18	09	フード付き フードを縫い付ける フードなし 首リブを縫い付ける
19	10	袖付き 袖を縫い付ける 袖なし 腕リブを縫い付ける
20	11	面ファスナーを縫い付ける

MOVIE

動画マニュアル

作成方法を動画にてご案内しております。
下記サイトよりアクセスしてご覧ください。

<https://movie.millamilla.jp/PT006/>

パスワード：



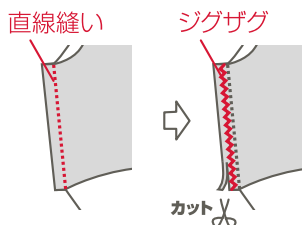
基本の縫い方

レシピでは、布端の始末にロックミシンを使っています。
家庭用ミシンをお使いの場合は、下記のマークをご覧ください。

家庭用ミシンで縫う場合

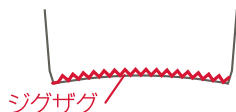
ジグザグ+カット

縫い代1cmなどで縫い合わせる時は、
直線縫いし、直線縫いのそばを
ジグザグ縫いします。
縫った糸を切らないように注意して
余分な縫い代をカットします。



ジグザグ

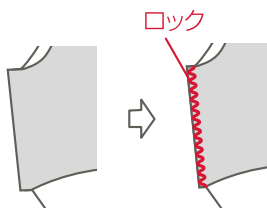
布端の始末をする時は、布端を
ジグザグ縫いします。



ロックミシンで縫う場合

ロックミシン+カット

縫い代1cmなどで縫い合わせる時は、
余分な縫い代をカットしながら、
ロックミシンをかけます。



ロックミシン

布端の始末をする時は、布端を切り落と
さないようにロックミシンをかけます。



用語・きれいに仕上げるコツなどは、サイトで
掲載しております「The First」をご覧ください。
<https://www.millamilla.jp/first/>



フード付き

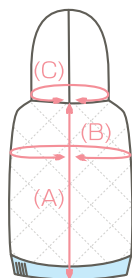
袖付き

袖なし

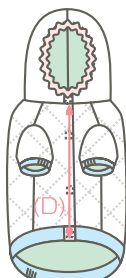
フードなし

袖付き

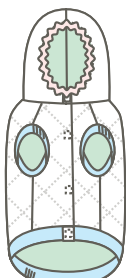
袖なし



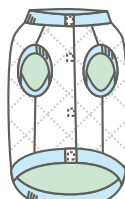
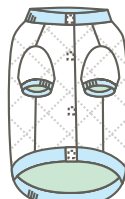
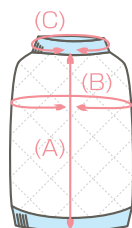
背中側



腹側



腹側



出来上がりサイズ

	着丈(A)	胴まわり(B)	首まわり(C)	前着丈(D)	目安体重(kg)
3S	19.5	35	24	17	1.5～2
SS	23.5	39	28.5	19.5	～3
S	25.5	44	31.5	21	～4
M	30.5	51	37	23.5	～6
L	35.5	58	43	26	～8
2L	39.5	64	48	28.5	～12
3L	46	70	54	30	～15
DS	33	44	31.5	21	3～4
DM	36	53	37	26	～6
FB-S	26	54	43	29	～8
FB-M	33.5	60	46	31	～12
FB-L	37.5	66	51	34	～15

(単位 cm)

袖付き

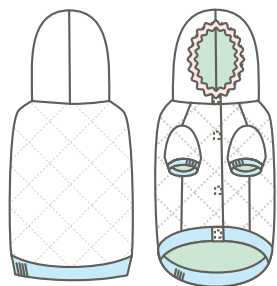
フード付き

- ☆ 生地A：布帛地(シーチング、ネル、コーデュロイなど中厚地)/
表地用：前身頃・後身頃・袖・フード・別布
- ☆ 生地B：布帛地(ローン、ブロード、リネン、ダンガリーなど薄手
コットン地)/裏地用：前身頃・後身頃・袖・フード・別布
- ☆ 生地C：綿芯(ドミット芯、キルト芯など)/前身頃・後身頃・袖
- ☆ 生地D：リブ(スパンフライス・スパンテレコなど)/袖口リブ・裾リブ
- ☆ 生地E：ファー(フェイクファー、プードルファーなど)/フードファー
- ☆ 面ファスナー：1.5cm幅×1.5cm
3S～S・FB-S・FB-M：4組
M～2L・DS・FB-L：5組
3L・DM：6組

生地
A生地
B生地
C生地
D生地
E

☆ 糸：スパン糸60番(上糸・下糸)

※ ロックミシン使用の場合は、ロック用スパン糸を4個ご使用ください。



必要用尺

	生地 A・B・C	生地 D	生地 E
3S	30×110	10×110	10×130
SS	40×110	10×110	10×130
S	45×110	10×110	10×130
M	50×110	10×110	10×130
L	55×110	10×110	10×130
2L	80×110	10×110	10×130
3L	95×110	10×110	10×130
DS	45×110	10×110	10×130
DM	45×110	10×110	10×130
FB-S	50×110	10×110	10×130
FB-M	65×110	10×110	10×130
FB-L	85×110	10×110	10×130

※ 生地A・B・Cは各生地の必要用尺となります。(単位 cm)



※注意

必要用尺の記載方法は、図のようにA×Bにて記載しています。
用尺は一般的な110cm巾、ファーは130cm巾で計算して
いますが、生地によって巾が違うので、あらかじめ生地に余
裕をもってご用意ください。

袖なし

フード付き

- ☆ 生地A：布帛地（シーチング、ネル、コーデュロイなど中厚地）/
表地用：前身頃・後身頃・フード・別布
- ☆ 生地B：布帛地（ローン、ブロード、リネン、ダンガリーなど薄手
コットン地）/裏地用：前身頃・後身頃・フード・別布
- ☆ 生地C：綿芯（ドミット芯、キルト芯など）/前身頃・後身頃
- ☆ 生地D：リブ（スパンフライス・スパンテレコなど）/裾リブ・腕リブ
- ☆ 生地E：ファー（フェイクファー、プードルファーなど）/フードファー
- ☆ 面ファスナー：1.5cm幅×1.5cm
3S～S・FB-S・FB-M：4組
M～2L・DS・FB-L：5組
3L・DM：6組

生地
A

生地
B

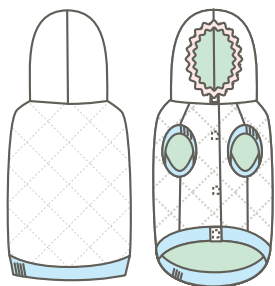
生地
C

生地
D

生地
E

☆ 糸：スパン糸60番（上糸・下糸）

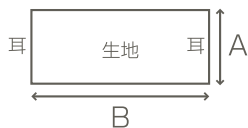
※ ロックミシン使用の場合は、ロック用スパン糸を4個ご使用ください。



必要用尺

	生地 A・B・C	生地 D	生地 E
3S	30×110	10×110	10×130
SS	35×110	10×110	10×130
S	35×110	10×110	10×130
M	40×110	10×110	10×130
L	55×110	10×110	10×130
2L	60×110	10×110	10×130
3L	75×110	20×110	10×130
DS	45×110	10×110	10×130
DM	45×110	10×110	10×130
FB-S	40×110	10×110	10×130
FB-M	60×110	20×110	10×130
FB-L	80×110	20×110	10×130

※生地A・B・Cは各生地の必要用尺となります。（単位 cm）



※注意

必要用尺の記載方法は、図のようにA×Bにて記載しています。
用尺は一般的な110cm巾、ファーは130cm巾で計算して
いますが、生地によって巾が違うので、あらかじめ生地に余裕
をもってご用意ください。

袖付き

フードなし

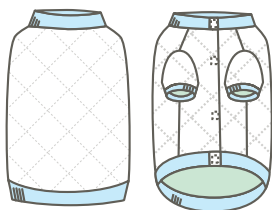
- ☆ 生地A：布帛地（シーチング、ネル、コーデュロイなど中厚地）/
表地用：前身頃・後身頃・袖・別布
- ☆ 生地B：布帛地（ローン、ブロード、リネン、ダンガリーなど薄手
コットン地）/裏地用：前身頃・後身頃・袖・別布
- ☆ 生地C：綿芯（ドミット芯、キルト芯など）/前身頃・後身頃・袖
- ☆ 生地D：リブ（スパンフライス・スパンテレコなど）/
袖口リブ・裾リブ・首リブ
- ☆ 面ファスナー：1.5cm幅×1.5cm
3S～S・FB-S・FB-M：4組
M～2L・DS・FB-L：5組
3L・DM：6組
- ☆ 糸：スパン糸60番（上糸・下糸）
- ※ ロックミシン使用の場合は、ロック用スパン糸を4個ご使用ください。

生地
A

生地
B

生地
C

生地
D



必要用尺

	生地 A・B・C	生地 D
3S	30×110	10×110
SS	35×110	20×110
S	35×110	20×110
M	40×110	20×110
L	50×110	20×110
2L	55×110	20×110
3L	65×110	20×110
DS	45×110	20×110
DM	45×110	20×110
FB-S	40×110	20×110
FB-M	50×110	20×110
FB-L	60×110	20×110

（単位 cm）

※生地A・B・Cは各生地の必要用尺となります。



※注意

必要用尺の記載方法は、図のようにA×Bにて記載しています。
用尺は一般的な110cm巾で計算していますが、生地によって
巾が違うので、あらかじめ生地に余裕をもってご用意ください。

袖なし

フードなし

☆ 生地A：布帛地（シーチング、ネル、コーデュロイなど中厚地）/
表地用：前身頃・後身頃・別布

☆ 生地B：布帛地（ローン、ブロード、リネン、ダンガリーなど薄手
コットン地）/裏地用：前身頃・後身頃・別布

☆ 生地C：綿芯（ドミット芯、キルト芯など）/前身頃・後身頃

☆ 生地D：リブ（スパンフライス・スパンテレコなど）/
裾リブ・腕リブ・首リブ

☆ 面ファスナー：1.5cm幅×1.5cm
3S～S・FB-S・FB-M：4組
M～2L・DS・FB-L：5組
3L・DM：6組

☆ 糸：スパン糸60番（上糸・下糸）

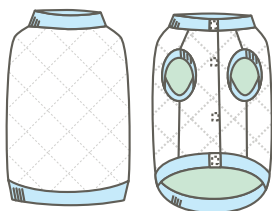
※ ロックミシン使用の場合は、ロック用スパン糸を4個ご使用ください。

生地
A

生地
B

生地
C

生地
D



必要用尺

	生地 A・B・C	生地 D
3S	30×110	10×110
SS	35×110	20×110
S	35×110	20×110
M	40×110	20×110
L	45×110	20×110
2L	50×110	20×110
3L	55×110	30×110
DS	45×110	20×110
DM	45×110	20×110
FB-S	40×110	20×110
FB-M	50×110	20×110
FB-L	50×110	20×110

（単位 cm）

※生地A・B・Cは各生地の必要用尺となります。



※注意

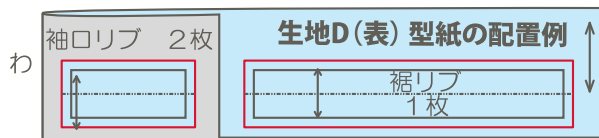
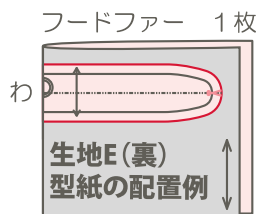
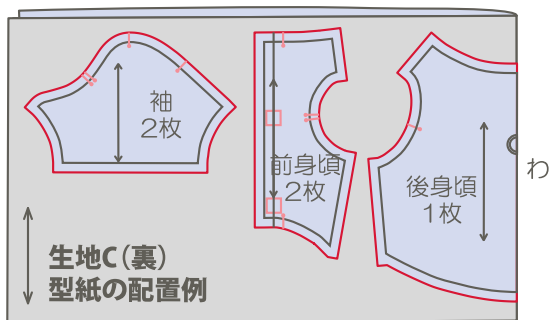
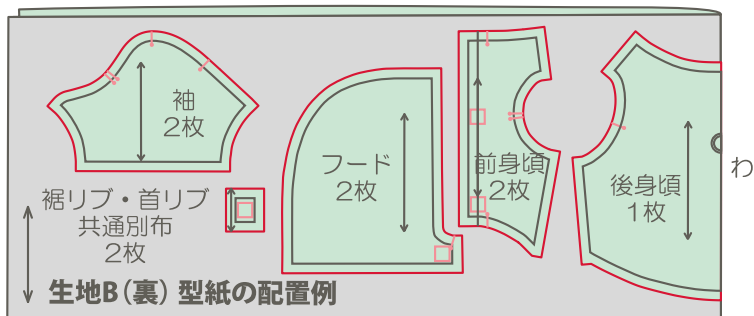
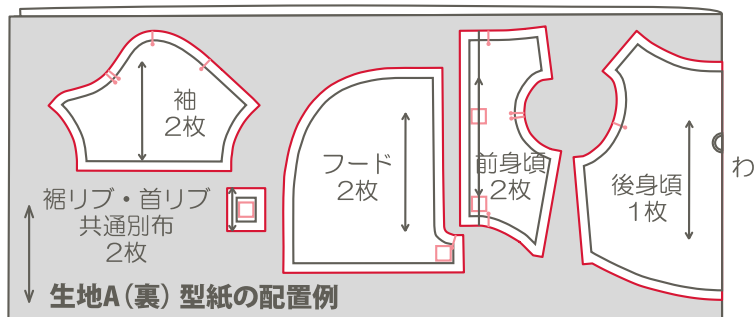
必要用尺の記載方法は、図のようにA×Bにて記載しています。
用尺は一般的な110cm巾で計算していますが、生地によって
巾が違うので、あらかじめ生地に余裕をもってご用意ください。

02 下準備

- ①型紙を切り取り、必要用尺を計算します。縫い代付き型紙(1cm)です。
- ②生地を購入し、必要であれば水通し、地直しをします。
- ③型紙を配置し、ゆっくり生地を裁断します(赤線)。合印♀に3mmほどの切り込みを入れます。

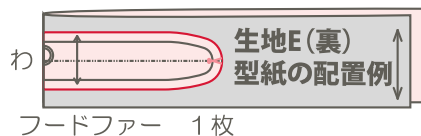
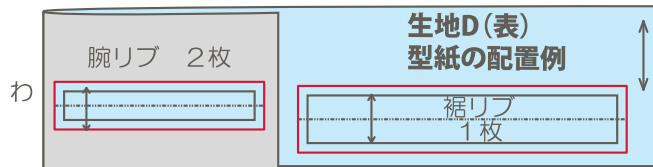
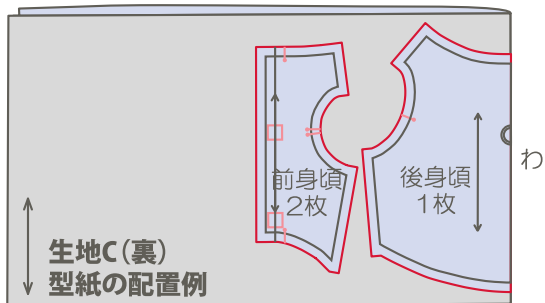
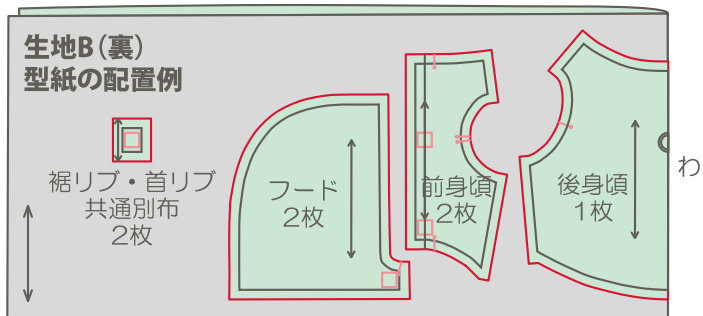
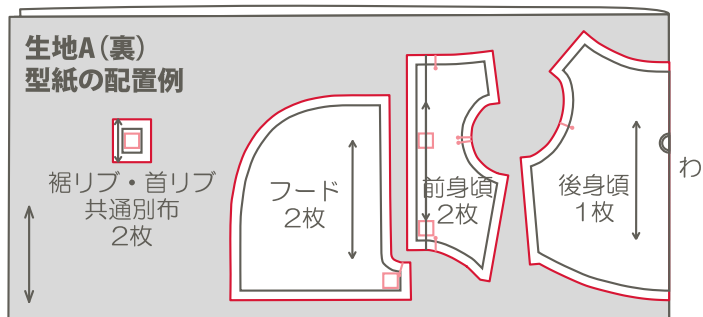
袖付き

フード付き



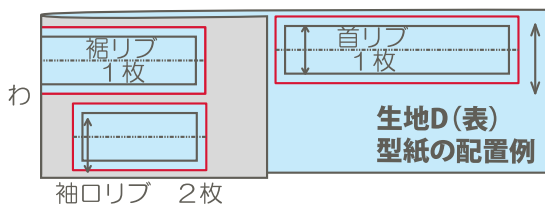
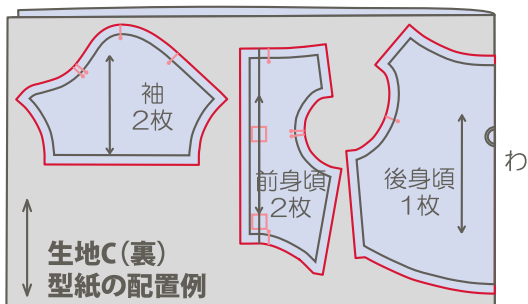
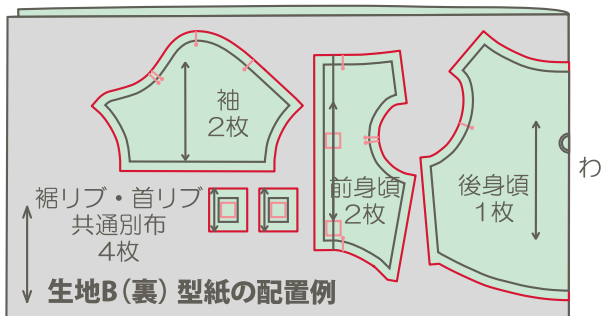
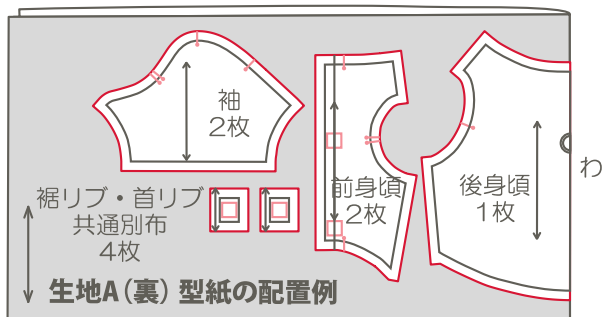
袖なし

フード付き



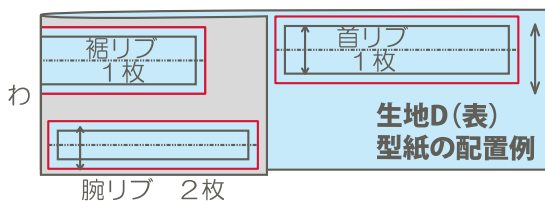
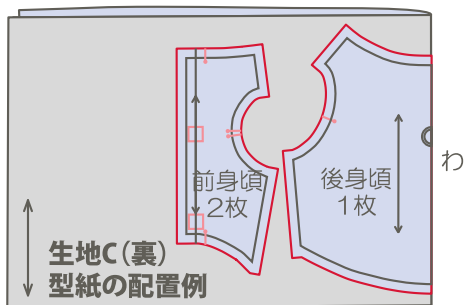
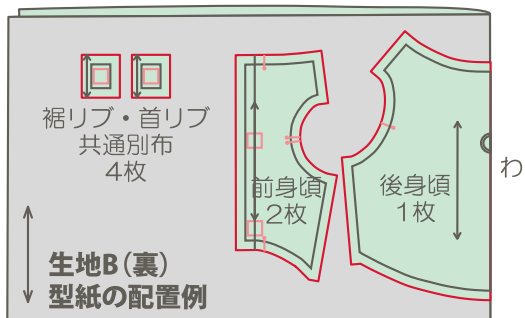
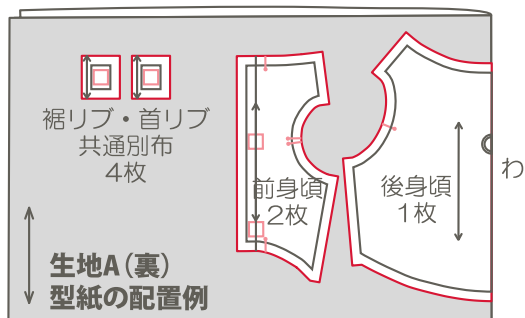
袖付き

フードなし

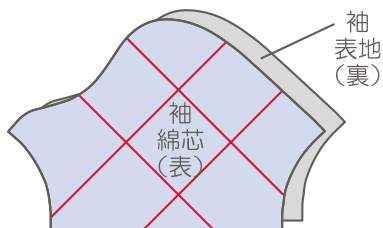


袖なし

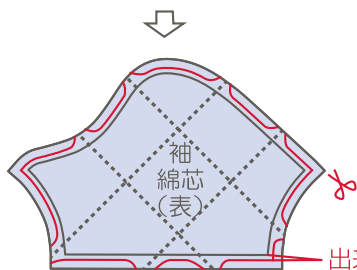
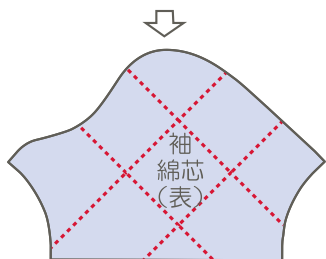
フードなし



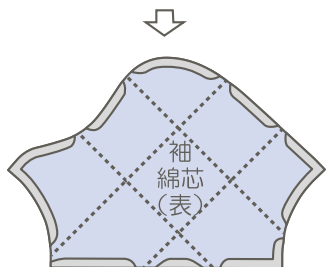
参考 キルティング生地 の作り方



①各パーツの表地に綿芯を縫い付けます。
表地と綿芯を外表に重ね、好みの
間隔で綿芯(表)に線を引き、線の上を
ステッチします。



②綿芯が重なると生地が厚くなるので、
出来上がり線から3mm外側を綿芯
のみカットします。
(キルトステッチを切り落とさないよう
に注意しましょう)



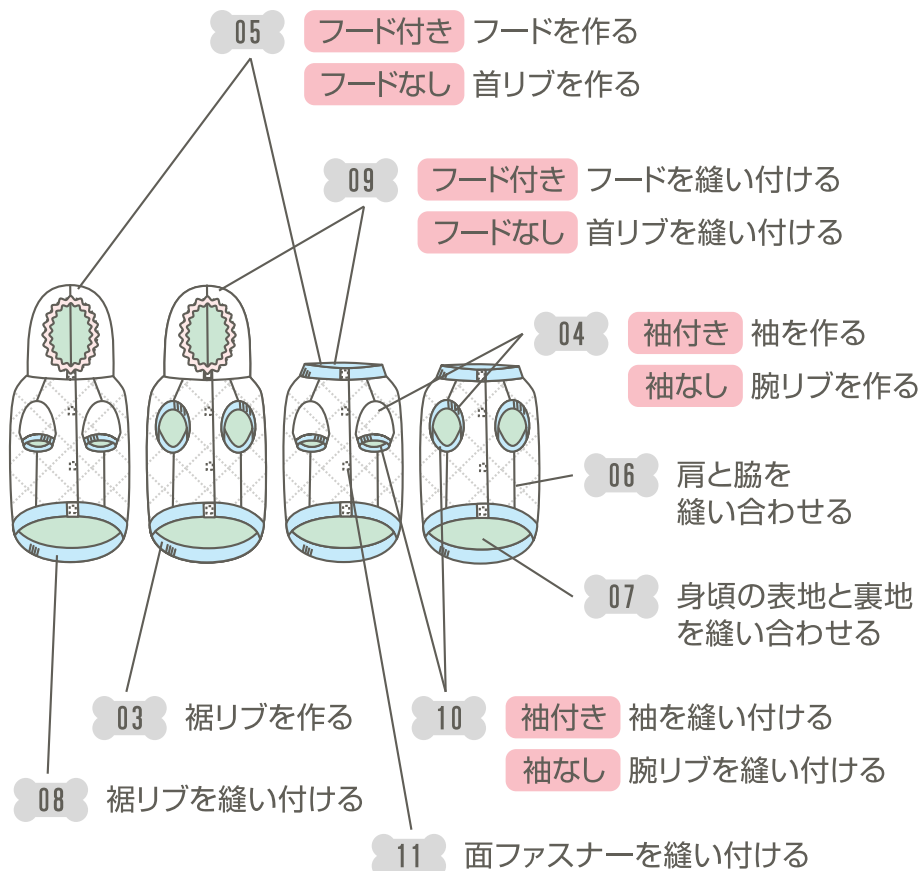
※ここでは袖のパーツで説明していますが、
綿芯が必要なパーツはすべて同様に
作ります。

※各工程のレシピでは、図が複雑になる
ため全面に綿芯が貼った状態になって
いますが、実際には綿芯の縫い代を
カットしています。

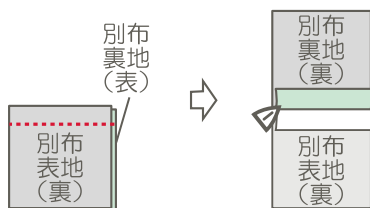
キルティングジャケットで綿芯を縫い付けるパーツ

袖付き	フード付き	前身頃、後身頃、袖の表地
袖なし	フード付き	前身頃、後身頃の表地
袖付き	フードなし	前身頃、後身頃、袖の表地
袖なし	フードなし	前身頃、後身頃の表地

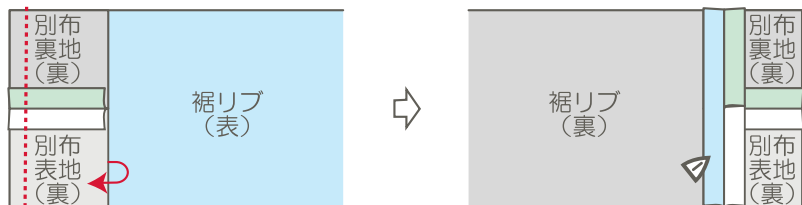
作り方順序



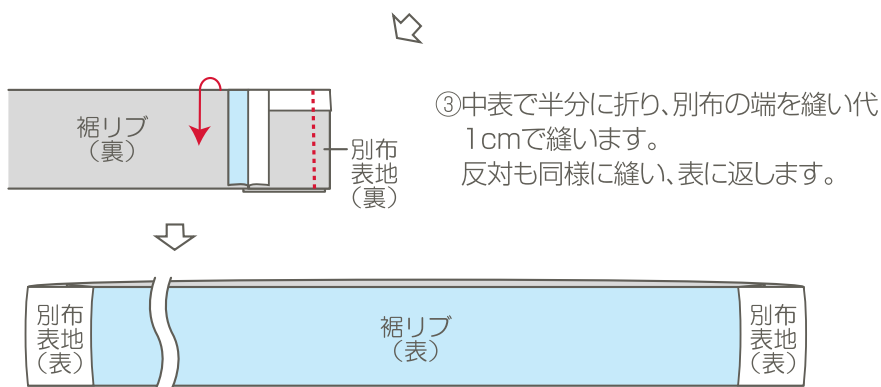
03 裾リブを作る



- ①別布の表地と裏地を中表で合わせ、縫い代1cmで縫い合わせます。縫い代を割ります。



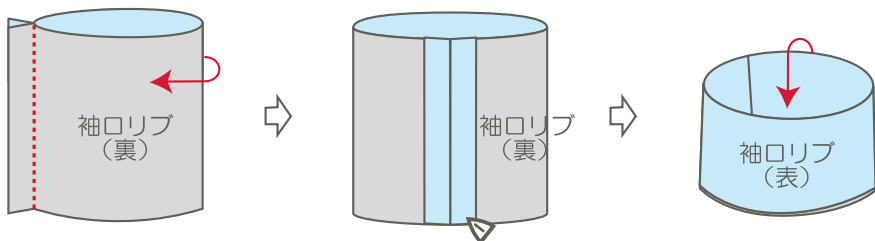
- ②裾リブの布端に別布を中表に重ね、縫い代1cmで縫い合わせます。
別布を広げ、縫い代を割ります。



- ③中表で半分に折り、別布の端を縫い代1cmで縫います。
反対も同様に縫い、表に返します。

04

袖付き 袖を作る



- ①袖口リブを中表で二つに折り、縫い代1cmで縫います。縫い代を割ります。

- ②袖口リブを外表で二つに折り、形を整えます。